

つなぐ 寒空の下で 襷を
たすき 大会



11月18日、平和公園多目的グラウンドで「鹿屋市校区対抗駅伝大会」が開催されました。これは、毎年開催される「小学校区対抗かのやローズヒル駅伝大会」の中止に伴い、陸上競技クラブキモツキジュニアの主催で行われたイベントで、小学校区ごとに8人編成のチームが1区間1kmを走り、襷をつなぐもの。当日は11チーム88人が軽快な走りを見せ、西原小学校区が優勝しました。

胸に 地元の後押しを
熱戦を展開



11月17日、鹿屋体育大学女子バレーボール部が市役所を訪れ、10月に串良平和アリーナで開催された「燃ゆる感動かごしま国体バレーボール競技成年女子」での4位入賞を報告しました。鹿児島県代表に同部から8人の選手と同部OG 4人が選抜され、連日熱戦を展開しました。濱田幸二監督は「地元開催で多くの人に足を運んでもらい、応援で後押ししていただいた」と語りました。

「ばら」と「海」を
渾身の一枚で表現



11月12日、かのやばら園で「かのや「ばら」と「海」フォトコンテスト2023」の表彰式が行われました。同コンテストは令和4年8月1日～令和5年7月31日にかけて、かのやばら園の「ばら」と鹿屋市内の「海」の魅力を表現している写真を募集したもので、全312点の応募作品からグランプリを含む特選以上の表彰が行われ、受賞者は作品に込めた想いや受賞の喜びを語っていました。



子どもたちに豚肉
とピーマンを贈呈



11月21日、鹿児島きもつき農業協同組合が南部幼稚園(下堀町)に豚肉とピーマンを提供しました。これは、同組合合併30周年記念事業の一環として実施したもので、2市4町70施設に茶葉豚肉約540kgとピーマン約370kgを贈りました。下小野田寛組合長は「次代を担う子どもたちに味わってもらい、地元こんなに素晴らしい農産物があるということを知ってほしい」と話しました。

御霊の感霊と
恒久平和を祈る



11月18日、市体育館で「令和5年度鹿屋市戦没者追悼式」が挙行されました。これは、先の大戦における戦没者等の御霊を慰めるとともに、恒久平和の実現を祈念するために毎年開催しているもの。当日は遺族や関係者など約150人が参列し、追悼の言葉や献花が行われたほか、若い世代を代表して菟川小学校6年生の楠原凜之助さんが平和へのメッセージを朗読しました。

専門高校が
自校の魅力を発信



11月14日、鹿屋女子高校で「大隅地区専門高校フェスタ」が開催されました。これは、農業・工業など職業に関わる専門学科を置く高校が特色ある展示や体験、発表などを行い、自校の魅力を発信するもので、大隅地区では地域の専門高校9校や企業が出展。約470人の中学生が参加し、電気工作やミシン体験、講演、座談会などを楽しみながら進路選択に役立てていました。

「地元」に想いを
届ける寄附



11月13日、明治安田生命保険相互会社から「私の地元応援募金」をいただきました。この募金は、より豊かな地域社会づくりに貢献することを目指す「地域の元気プロジェクト」の一環として、同社グループの従業員が出身地などのゆかりのある団体等に募金し、会社からの拠出を上乗せして寄附を実施するもの。本市へは、21万2,500円の寄附をいただきました。



東川隆太郎さんと歩く
輝北市成の歴史探訪

11月19日、「東川隆太郎さんと歩く輝北ウォーキング大会」が開催されました。参加者49人は、県内を中心に街歩きなどを行っている同氏の案内のもと、市成地区公民館周辺の仁王像など4か所を見て回り、歴史を学びました。



ベトナムの農業発展を
目指して研修

11月13日、JICA青年研修(農業・農村開発(6次産業化コース))として来日していたベトナム研修員12人が市役所を訪れました。農業振興や商品開発・販売・流通等について、鹿屋市を中心に19日間研修。着付けなどの日本文化も体験しました。



地域全体で細山田
小学校の節目を祝う

細山田小学校の創立150周年記念式典が、11月11日に開催されました。式典では同校の歩みをスライドにより紹介。式典終了後には「細山田秋まつり」やキッチンカーの出店も行われるなど、地域を挙げて創立150周年を祝いました。



南小創立150周年の
記念式典で節目を祝う

11月11日、南小学校で創立150周年記念式典が開催されました。式典では、児童によるエイサー演舞や150周年に関する作文披露などのほか、同校卒業生でブルーインパルス飛行隊長を務めた日高大作氏による講演も行われました。



100年の伝統を
これからも紡いでいく

11月11日、鹿屋高校で創立100周年記念式典が開催されました。同校は、大正12年に県立鹿屋中学校として開校後、県立鹿屋高等女学校を統合。昭和24年に鹿屋高校となり、100年間で合計2万8,000人以上の卒業生を輩出しました。



世界への切符をつかみ
世界大会で躍動

11月10日、「全日本SUPレース選手権大会」女子エリートクラスでテクニカルレース2位、ロングディスタンスレース3位に入賞し、11月15日からタイ王国で開催された世界大会に出場した芝原叶妃選手が市役所を訪れました。